

# 強烈な米国市場の吸引力

## 米杉価格高騰、日本向け供給一段と厳しく

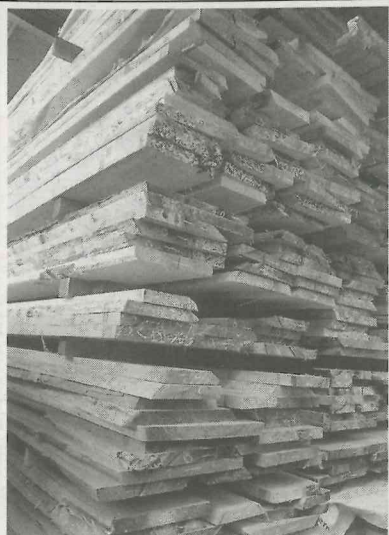
北米産米杉(ウエスタンレッドシダー)丸太、フリッチ、完製品の日本向け価格が一様に急騰している。半製品の主力6寸盤レギュラーカラー(No.2クリア&ベター)の新規輸入コストは20万円(オントラ、立方尺)前後、流通段階では今後、25万円(同)前後で販売していく必要があるという。デッキ材を軸に米杉製品を販売するホームセンターではデッキ用代替材を模索する動きも表面化してきた。



(同) 1250ドル  
(同)、デッキグレー  
ドは4分の5×6寸  
(KD)で1710ドル  
(同)を付けた。特に  
デッキグレード4分の  
5×6寸(KD)は前  
年同期比32%幅で値上  
がりしている。

米杉製材高騰の原因

日本向け価格急騰の原因は米国市場価格の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。



米杉国内挽き製材工場の米杉板材

響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している

日本向け米杉丸太主産地であるアラスカ州では、丸太供給最大手であるシアラスカ・ティンバーも、米杉丸太に関しては北米市場出荷を優先しており、現状の米杉製材価格であれば、丸太輸送コストにも十分耐えられるようだ。

目下の北米市場の米杉製材高騰は、「内・外装材を中心に需要が多くなる」ということから、価格は引き続き天井が見えない(同)と指摘する。

日本市場への2016年のカナダ産米杉製材輸出は794万BMに減、直近ピークである13年比では51%減と半減している。対照的に米国向けは16年が6億4900万BMと年々増え、09年比で126%増、日本向けに比べ80倍の市場に成長している。カナダ

米杉製材高騰の原因は、米国新設住宅需要の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。

また、現在係争中の米加製材貿易紛争の影響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している

米杉製材高騰の原因は、米国新設住宅需要の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。

また、現在係争中の米加製材貿易紛争の影響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している

米杉製材高騰の原因は、米国新設住宅需要の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。

また、現在係争中の米加製材貿易紛争の影響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している

米杉製材高騰の原因は、米国新設住宅需要の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。

また、現在係争中の米加製材貿易紛争の影響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している

の米杉製材輸出合計は7億4200万BM(前年比23%増)だが、輸出の87%を米国向けが占め、海外市場輸出そのものが機会損失に近い状況だ。

米杉丸太挽き製材大手は、レギュラーソー

米杉製材高騰の原因は、米国新設住宅需要の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。

また、現在係争中の米加製材貿易紛争の影響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している

米杉製材高騰の原因は、米国新設住宅需要の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。

また、現在係争中の米加製材貿易紛争の影響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している

米杉製材高騰の原因は、米国新設住宅需要の増加によるもので、高騰による。2月下旬特に高級住宅向け内の北米市場米杉製材価格、ディメンションが2×4(スタンダード&ベター、ノットイ)1100ドル(工場渡し、1000BM)が増えている。

また、現在係争中の米加製材貿易紛争の影響も大きく、今年1月の下旬以降米国に出荷したカナダ産針葉樹製材に逆上って適用される。と見られている、米国政府による高率の暫定輸入関税が、米国向けに輸出されている米杉製材価格に上乗せして販売され始めたこと、北米市場価格急騰の要因だ。

この暫定輸入関税率は一説に25%前後といわれており、カナダ産SPF製材などはカナダの輸出業者と米国の輸入業者が折半負担するケースが一般的なようだが、米杉に関しては米国の輸入業者が全額負担しても手当てするという状況で、米国の吸引力は強烈だ。

このほか、米杉産地であるBC州沿岸南部で、例年になく寒波と早い降雪が起きたこと、目下の米杉丸太不足を助長している。米杉丸太が出材される比較的高地の林区は既に伐採機材などを降ろし、伐採現場も閉鎖している。この出材減により、BC州沿岸部の米杉製材大手は丸太不足に陥っており、一部は製材ラインの一時閉鎖を実施している